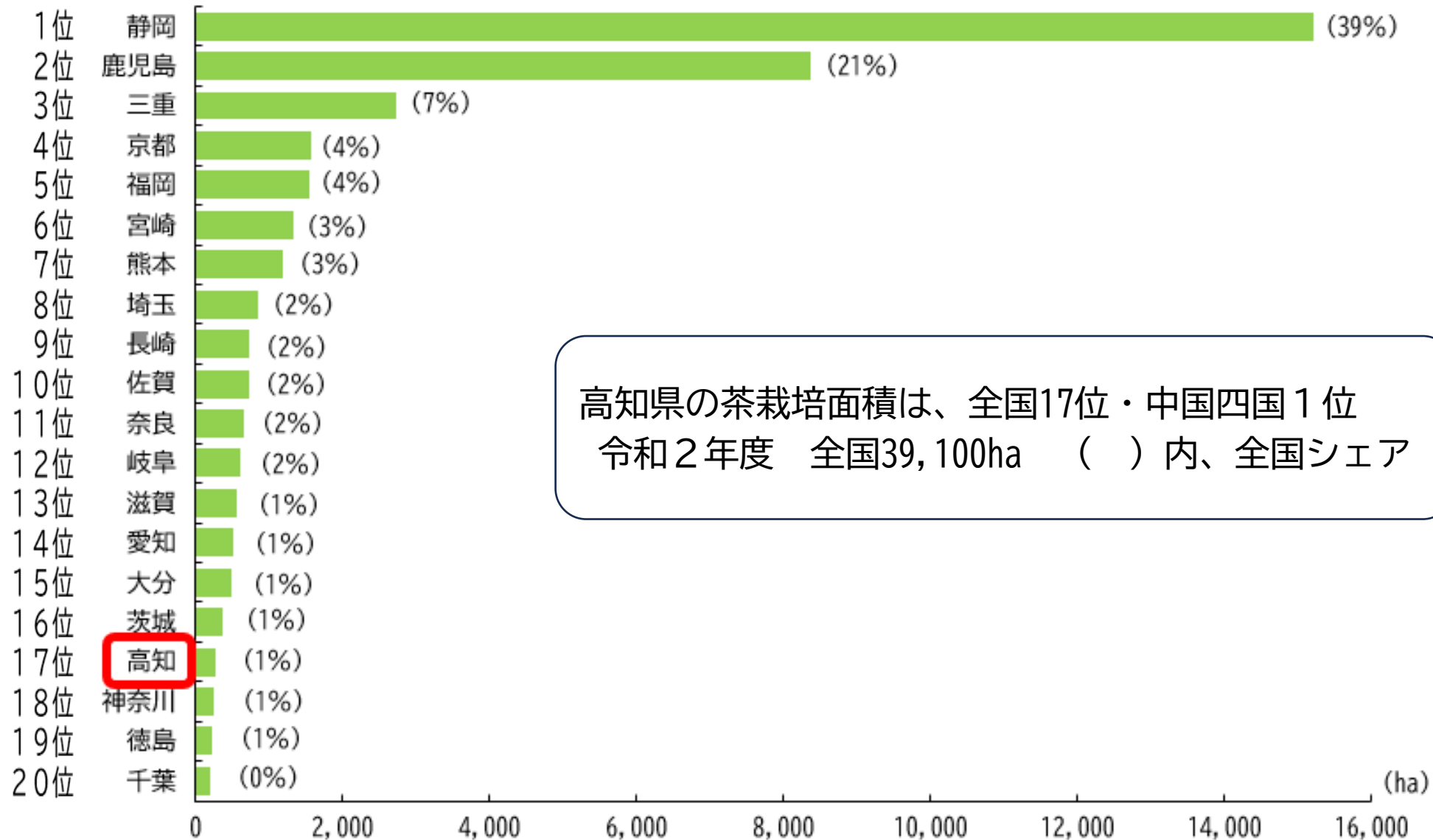
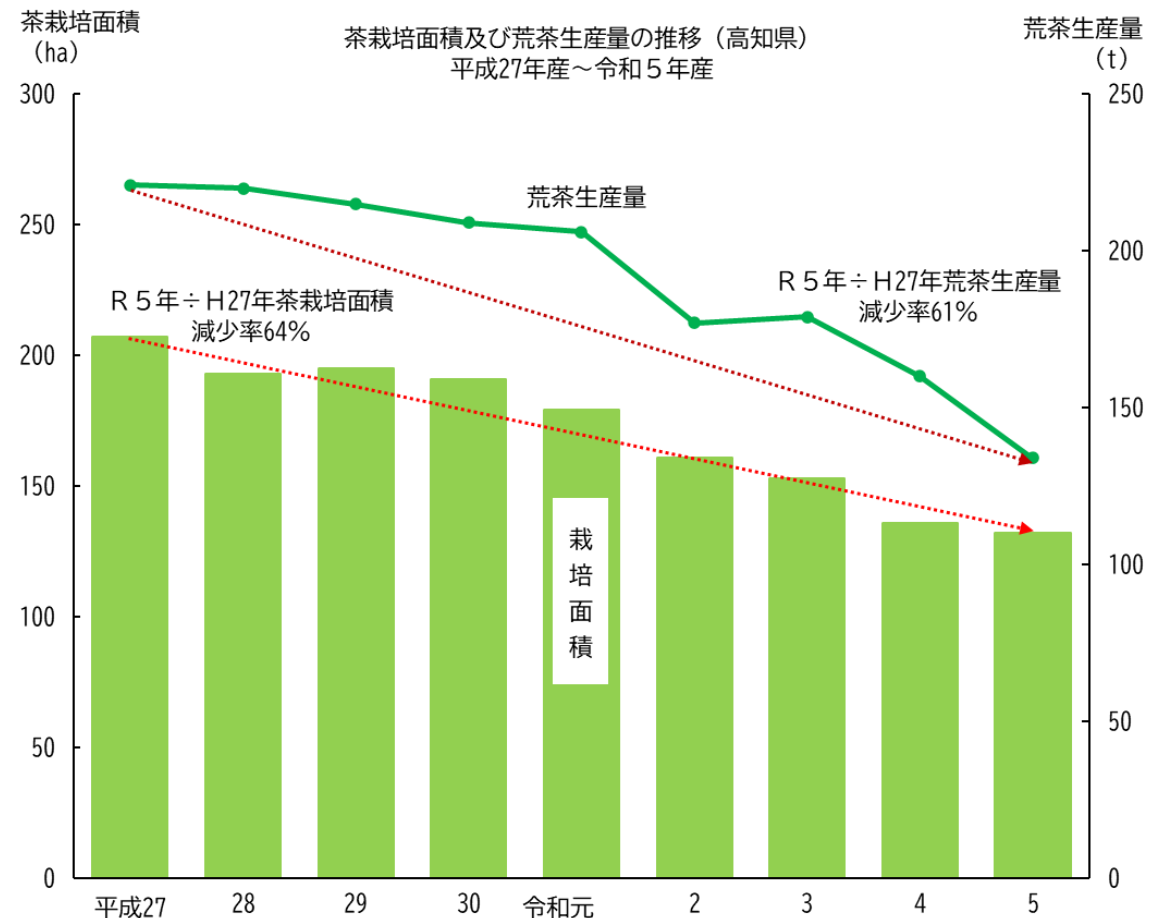
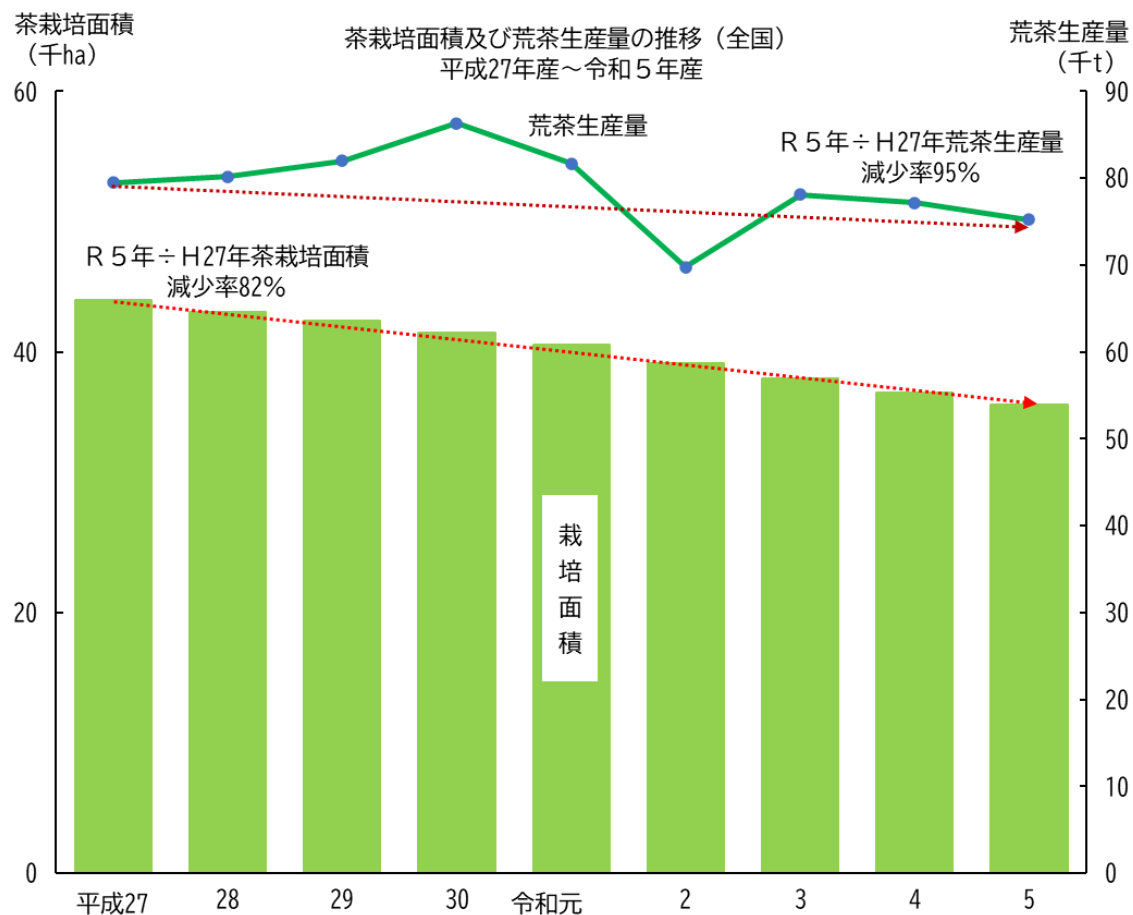


**（１）茶の栽培面積（全国に占める高知県のシェア）及び高知県の茶栽培面積・生産量の推移、
茶栽培戸数及び栽培面積の将来意向**



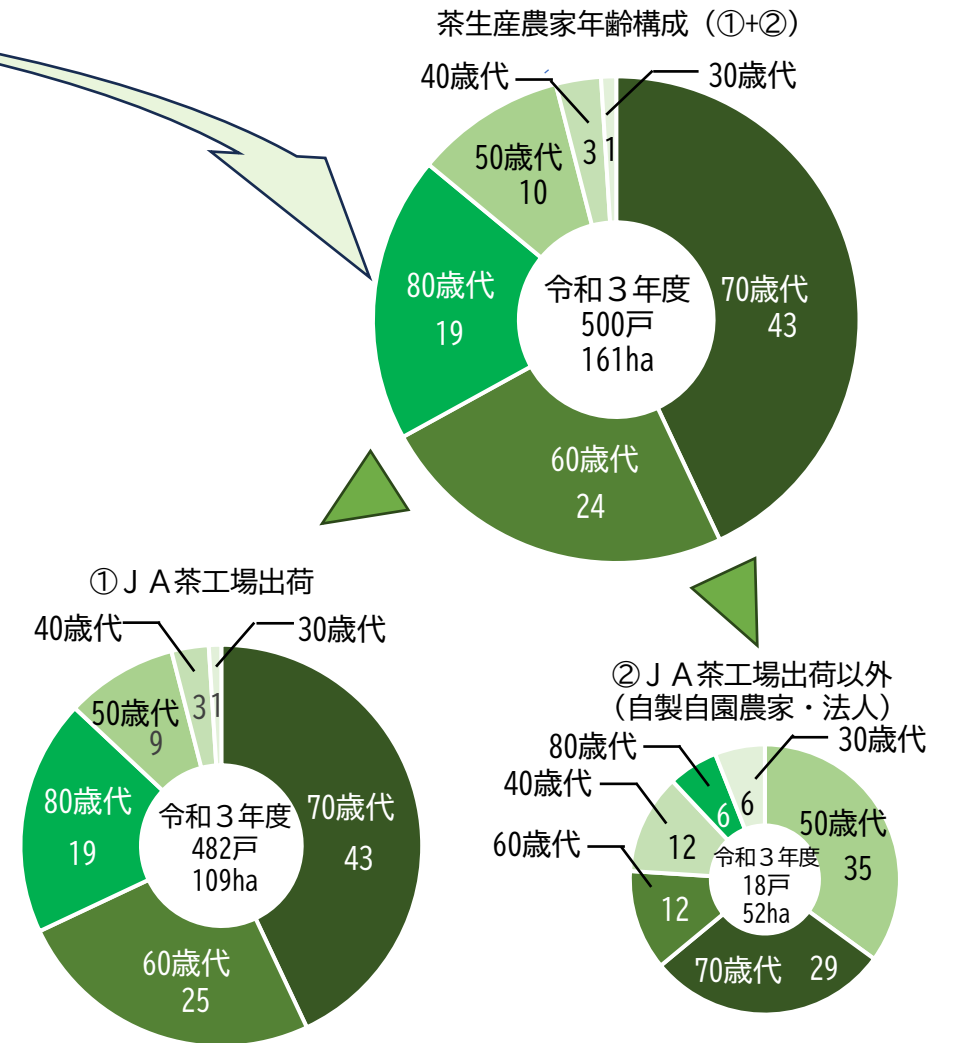
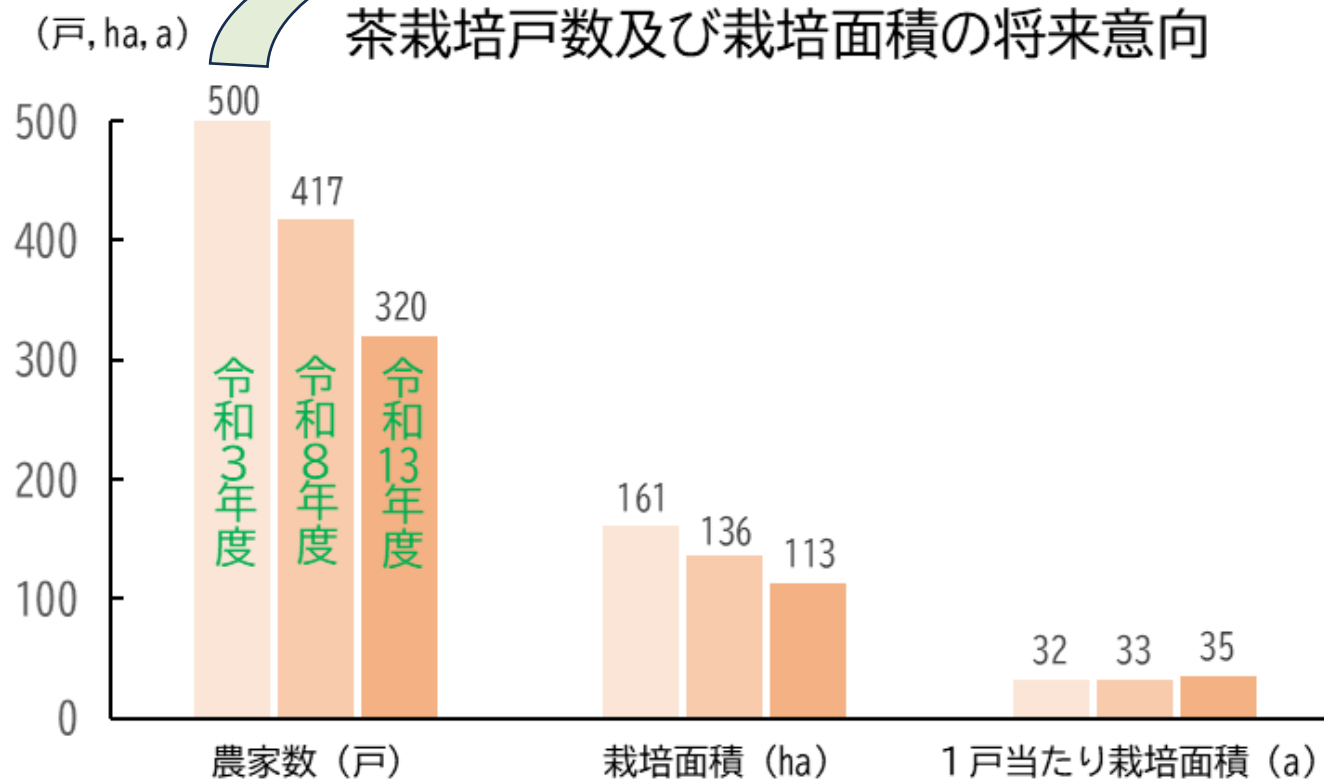
都道府県別茶栽培面積（上位20府県）





茶栽培面積の減少率（平成27年→令和5年）は、全国82%に対して高知県64%で△18ポイント、
荒茶生産量の減少率（平成27年→令和5年）は、全国95%に対して高知県61%で△34ポイントと
全国に比べて高知県の減少率が大幅に大きくなっている。





資料：高知県農業振興部 環境農業推進課 同農産物マーケティング課（茶生産農家アンケート結果（令和3年度））

高知県農業振興部が調査した「令和3年度茶生産農家アンケート結果」では、令和13年度に113haまで減少する意向がみられた。一方、全体の3分の1を占める自製自園農家・法人では50歳代以下が半数を超えており、令和13年度まで続けたい意向が大半を占めていた。



(2) 茶の形態変化と茶の種類及び土佐茶の特徴



(2) 茶の形態変化と茶の種類



種 類	特徴及び主な産地	荒茶生産割合及び 荒茶価格(R5年)
 せん茶	[特徴] ・最も一般に飲まれるお茶。新芽を蒸して揉んで乾燥させて製造。 [主な産地] ・全国	[生産割合] 51.4% [荒茶価格] 1,223円/kg
 ぎょくろ 玉露	[特徴] ・棚を用いて藁や寒冷紗などで、収穫前20日前後の被覆栽培を行い、煎茶と同様に製造。 [主な産地] ・三重県、京都府、福岡県	[生産割合] 0.8% [荒茶価格] 2,901円/kg
 かぶせ茶	[特徴] ・藁や寒冷紗などで、収穫前1週間程度の被覆栽培を行い、煎茶と同様に製造。 [主な産地] ・三重県、奈良県、静岡県	[生産割合] 2.8% [荒茶価格] 1,598円/kg
 てん茶 (抹茶)	[特徴] ・摘採期前に棚施設等を利用して茶園をよしず、コモ、寒冷紗などの被覆資材で2～3週間程度覆った「覆下茶園」から摘採した茶葉を蒸熱し、揉まないでてん茶炉等で乾燥させて製造。 ・てん茶を茶臼等で微粉末状に製造したものが「抹茶」。 [主な産地] ・鹿児島県、京都府、静岡県	[生産割合] 5.6% [荒茶価格] 3,141円/kg
 たまりよくちゃ 玉緑茶	[特徴] ・煎茶の製造方法と異なり、最後に形を細長く整える工程がないため、茶葉の形が丸みを帯びている。 [主な産地] ・長崎県、佐賀県、熊本県	[生産割合] 2.3% [荒茶価格] 1,831円/kg

資料: 荒茶生産割合及び荒茶価格(全茶期)は全国茶生産団体連合会調べ
参考: 玉露、かぶせ茶及びてん茶を称して「おい茶」という。



主産地 全国有数の清流 仁淀川・四万十川上流域

水はけの良い山の斜面に広がる茶畑

土佐茶の特徴

※ せん茶が大宗を占める

苦みの少ないまろやかな風味のお茶
茶の色は美しい金色透明（きんしょくとうめい）
特有の香り、豊かな旨味を持つ上質なお茶

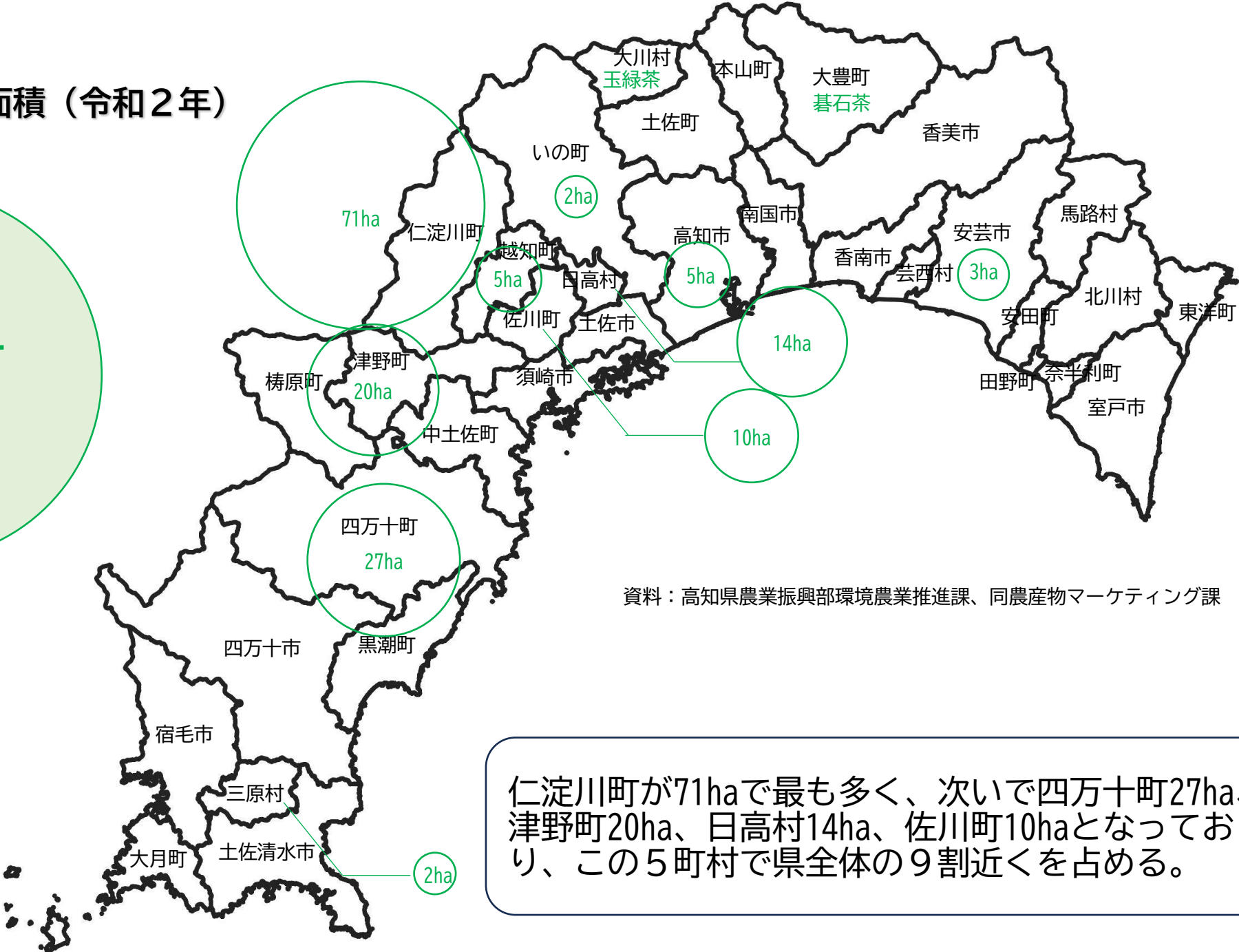
資料：高知県農業振興部環境農業推進課、同農産物マーケティング課



(3) 市町村別茶栽培面積及び樹齡30年以上面積割合（令和2年）



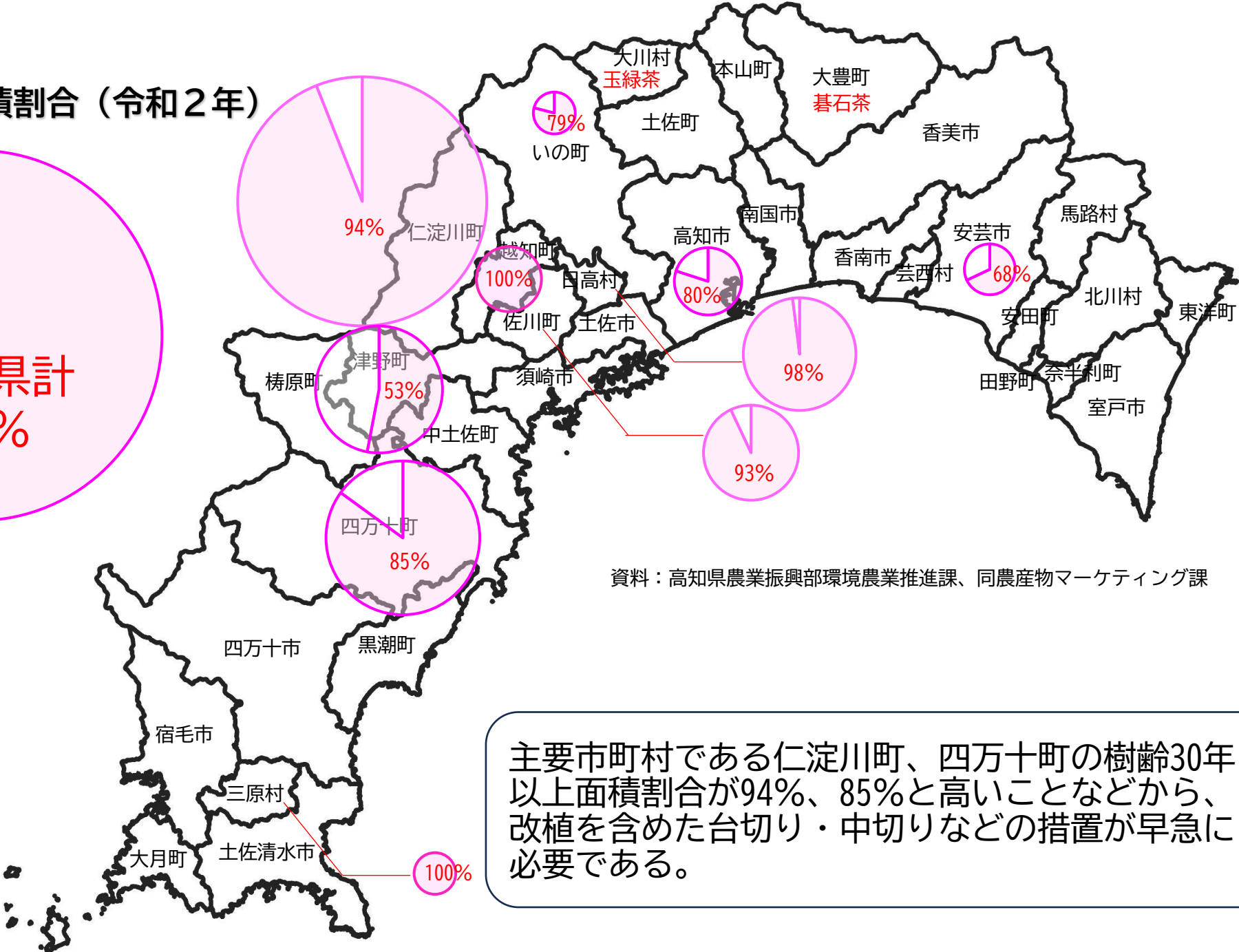
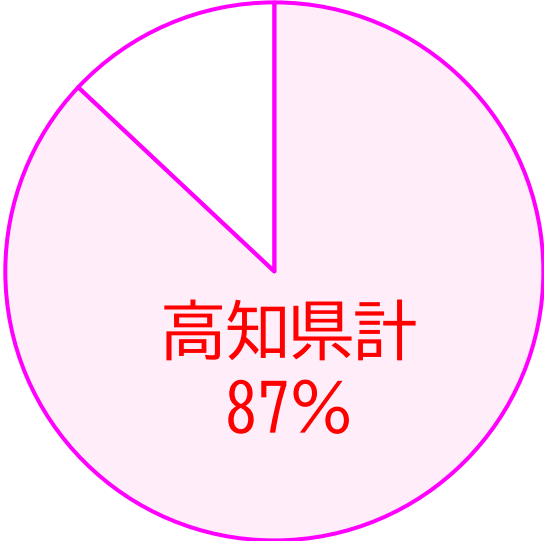
市町村別茶栽培面積（令和2年）



資料：高知県農業振興部環境農業推進課、同農産物マーケティング課

仁淀川町が71haで最も多く、次いで四万十町27ha、津野町20ha、日高村14ha、佐川町10haとなっており、この5町村で県全体の9割近くを占める。

樹齡30年以上面積割合（令和2年）



資料：高知県農業振興部環境農業推進課、同農産物マーケティング課

主要市町村である仁淀川町、四万十町の樹齡30年以上面積割合が94%、85%と高いことから、改植を含めた台切り・中切りなどの措置が早急に必要である。